

2024年度 日本思想史学会大会プログラム

第1日目 11月9日(土)

◇シンポジウム (13:00-16:50) 筑波大学筑波キャンパス春日エリア 7A205 講義室

テーマ:「日本思想史学の誕生と展開」

	司会	筑波大学	田中友香理
趣旨説明 (13:00-13:05)		神戸大学	昆野 伸幸
報 告 (13:05-15:15)		元愛知教育大学	前田 勉
		東京大学	山口 輝臣
		東京女子大学丸山眞男記念比較思想研究センター	杉山 亮

コメント (15:15-15:35) コメンテーター 愛知学院大学 林 淳

応答、ディスカッション (15:45-16:50)

◇総会 (17:00～) 筑波大学筑波キャンパス春日エリア 7A205 講義室

◇懇親会 (18:00-20:00) 筑波大学筑波キャンパス春日エリア 春日食堂

第2日目 11月10日(日)

◇研究発表・パネルセッション (9:20-17:00)

筑波大学筑波キャンパス春日エリア 7A101～106 講義室

◇「思想史の対話」研究会 (14:30-17:30)

筑波大学筑波キャンパス春日エリア 7A106 講義室

第1会場 7A104

	題目	報告者	司会
9:20-10:00	大蔵省翻訳局・銀行学局における田口卯吉の思想形成 －『自由交易日本経済論』の分析を中心に－	山本祐麻 (筑波大学)	青木一平 (江戸川学園取手中 高等学校)

10:00-10:40	自由民権運動期以降における古沢滋の思想と行動—日清戦後の英書翻訳を事例として—	西田幸乃 (筑波大学・院)	青木一平 (江戸川学園取手中高等学校)
10:40-11:20	久米邦武の聖徳太子論	池田智文 (ノートルダム女学院 中学高等学校)	青木一平 (江戸川学園取手中 高等学校)
11:20-12:00	保守派知識人たちのキリスト教観について—雑誌『東亜の光』を中心に	西田彰一 (国際日本文化研究センター)	青木一平 (江戸川学園取手中 高等学校)
12:00-13:00	お昼休み		
13:00-13:40	三宅雪嶺「国粹主義」再考—東洋哲学的観点およびその思想的継承者の論を手掛かりに—	梶田祥嗣 (流通経済大学)	常瀟琳 (筑波大学)
13:40-14:20	大正期の経済学と人口論——大西猪之介とその周辺	猪原透 (日本学術振興会特別 研究員)	常瀟琳 (筑波大学)
14:20-15:00	昭和戦時期の『神皇正統記』解釈—和辻哲郎と丸山眞男の事例を中心に—	齋藤公太 (北九州市立大学)	常瀟琳 (筑波大学)
15:00-15:40	唯物論研究会と新島繁-反ファシズムの遺産の再評価に向けて-	黒川伊織 (神戸大学)	長尾宗典 (筑波大学)
15:40-16:20	北吟吉による西南ドイツ学派研究とその成果について	大庭大輝 (筑波大学附属高等学 校)	長尾宗典 (筑波大学)
16:20-17:00	西谷啓治における神秘主義研究-1930年代を中心に-	小貫稜 (中央大学・院)	長尾宗典 (筑波大学)

第2会場 7A105

	題目	報告者	司会者
9:20-10:00	昭和初期における「農本主義」の成立	蔭木達也	大庭大輝 (筑波大学附属高等 学校)
10:00-10:40	原理日本社と「神社問題」 昭和前期における「歌学的日本主義」の成立	横川翔 (つくばみらい市教育 委員会)	大庭大輝 (筑波大学附属高等 学校)

10:40-11:20	戦時期日本の地域秩序構想への新たな視点—猪俣津南雄を手がかりとして—	李嘉棣 (大阪大学・院)	大庭大輝 (筑波大学附属高等学校)
11:20-12:00	松永材の「天皇」像—戦後の言説に焦点を当てて—	蓬田優人 (東北大学・院)	大庭大輝 (筑波大学附属高等学校)
12:00-13:00	お昼休み		
13:00-13:40	「アジア」から投げ返される「日本精神」言説	鷲澤遼祐 (京都大学・院)	松田宏一郎 (立教大学)
13:40-14:20	柳田國男『石神問答』における塞神—地藏・道祖神習合説の源流考—	清水邦彦 (金沢大学)	松田宏一郎 (立教大学)
14:20-15:00	植民地台湾における「母系制」をめぐる思潮と実践	松田京子 (南山大学)	松田宏一郎 (立教大学)
15:00-15:40	鹿地亘の重慶国民政府への亡命中における天皇制認識の変遷	小谷怜央 (明治大学・院)	水谷悟 (静岡文化芸術大学)
15:40-16:20	1940年代後半における「古代貴族の英雄時代」の位置づけ	王増芳 (明治大学・院)	水谷悟 (静岡文化芸術大学)
16:20-17:00	歴史と文学をめぐる一九七〇年代の言説空間と井上ひさし—ポスト「明治百年」の観点から—	平尾漱太 (大阪大学・院)	水谷悟 (静岡文化芸術大学)

第3会場 7A101

	題目	報告者	司会者
9:20-10:00	世阿弥による「修羅」の克服について	小嶋成美 (専修大学・院)	上野太祐 (神田外語大学)
10:00-10:40	近世後期間齋学派による「治人」意識の再検討—稲葉黙齋の事例より—	石井七海 (一橋大学・院)	巖錫仁 (筑波大学)
10:40-11:20	飯岡義齋の思想史的位置—間齋学派と懐徳堂との関係を中心に	清水則夫 (明治大学)	巖錫仁 (筑波大学)
11:20-12:00	前期古義堂における歴史学の形成と展開	杜絡嘉 (関西大学・院)	巖錫仁 (筑波大学)
12:00-13:00	お昼休み		

13:00-13:40	伊藤仁斎の人間観と「恕」解釈の再検討	阿部光磨 (武蔵高等学校中学校)	中村安宏 (岩手大学)
13:40-14:20	初期徂徠の学問体系	高山大毅 (東京大学)	中村安宏 (岩手大学)
14:20-15:00	近世後期における日朝関係構築の模索——学問所儒者の筆談唱和想定問答集を通して	松本智也 (四国学院大学)	中村安宏 (岩手大学)
15:00-15:40	天明期会津藩の改革における経世論の受容と歴史資源の動員	堀本大貴 (東京大学・院)	下川玲子 (愛知学院大学)
15:40-16:20	「国史官牒」主義再考	城所喬男 (東北大学)	下川玲子 (愛知学院大学)
16:20-17:00	岡熊臣『日本書紀私伝』の特徴	林卓俊 (岡山大学・院)	下川玲子 (愛知学院大学)

第4会場 7A102

	題目	報告者	司会者
9:20-10:00	日本におけるデスマスク史から見る死生観の変容	中野優子 (東北学院大学)	長尾宗典 (筑波大学)
10:00-10:40	水俣病を〈かくす〉ことと〈ひらく〉こと——石牟礼道子『春の城』からの遊航的探究	丹波博紀 (大正大学)	長尾宗典 (筑波大学)
12:00-13:00	お昼休み		
13:00-13:40	西川如見の怪異観再考	木場貴俊 (京都先端科学大学)	堀川峻 (筑波大学)
13:40-14:20	上田秋成の動物観	肖悦 (東京大学・院)	堀川峻 (筑波大学)
14:20-15:00	近世琉薩関係における儀礼と仏教 —薩摩役人の葬礼を手がかりとして—	源清香 (琉球大学・院)	堀川峻 (筑波大学)
15:30-17:00	パネルセッション 共有される仏教知—江戸時代の商業出版に注目して—	引野亨輔 (東北大学) 芹口真結子 (聖心女子大学) 岡田正彦 (天理大学)	オリオン・クラウ ウ (東北大学) コメンテーター 上野大輔 (慶應義塾大学)

第5会場 7A106

10:30-12:00	パネルセッション 日本宗教史叙述の思想——神道・仏教・キリスト教	木村悠之介 (東京女子大学) オリオン・クラウタウ (東北大学) 星野靖二 (國學院大學)	芹口真結子 (聖心女子大学) コメンテーター 村上晶 (駒澤大学)
12:00-13:00	お昼休み		
13:00-14:30	パネルセッション 近代日本の言論とメディア-思想史とメディア史の架 橋-	岡安儀之 (東北大学) 真辺美佐 (立正大学) 中川未来 (愛媛大学) 水谷悟 (静岡文化芸術大学)	長尾宗典 (筑波大学)
14:30-17:30	「思想史の対話」研究会 近現代日本思想における平和論	和寺悠佳 (和泉短期大学) 鳥羽厚郎 福井優 (立命館大学・院)	藤田貴士

*適宜、休憩・昼休み等をはさみながら進行してまいります。受付開始時刻は、第1日目は12:00、第2日目は9:00といたします。

ご案内

*大会参加費(2000円)、懇親会費(4000円(一般)・2000円(学生・非常勤))については、先日会員の皆様に郵送いたしました郵便振替用紙による事前納入か、当日払いをお願いいたします。

*発表要旨は当日、紙媒体でお配りします。

2024年度大会事務局 筑波大学人文社会系 中野目研究室

Tel: 029-853-4094 (直通) / 4127 (事務室)

(筑波大学アーカイブズ内 50年史編集室)

e-mail: tanaka.yukari.gf@u.tsukuba.ac.jp